

海田町立海田小学校4年目を迎えました 西村 靖子です。

海田小学校は、令和5年度に創立150年を迎えた歴史と伝統がある学校です。そして、日本人初のオリンピック金メダリストである織田幹雄さんを始め、多くのスポーツ選手を輩出し、地域の皆様に愛されている学校です。織田幹雄さんの精神を海田小学校の子供たちが引き継いでくれることを期待しています。

さて、海田小学校では、学校経営ビジョンを「心と心が響き合う学校」、学校教育目標を「感性を磨く～気付き 考え 行動する海小っ子の育成～」として、これまで取り組んできました。

人の中で人は育ちます。「心と心が響き合う」とは、自分自身の感性を磨き、自分や仲間を信じて表現すること、自分の積み上げた学びに自信を持ち、仲間とともにさらに伸びていく喜びを実感することで、好循環が生まれることであると捉えています。また、感性は「価値あるものに気付く感覚」であり、人間性の源であると捉えています。感性を豊かに働かせながら、思いや考えを基に新しい意味や価値を創造していく力は、豊かな心を育むことと密接に関わります。昨年度は、自尊感情を高め、自他の感性を磨くために、「声に出す活動」をすべての教育活動で意識してきました。今年度は、SSRの見方・考え方を浸透させていきながら、実践力を育成する道徳教育と道徳的実践力を発揮させる特別活動を通して道徳教育と特別活動の往還をねらっていきます。そのために、「対話」を重視した問題解決的な道徳の授業と学級活動による集団決定と自己決定を大切にしていきます。(全町道徳：海田西中学校区道徳教育推進事業)さらに、今年度は校舎建替基本構想の策定という節目の年として、コミュニティの核である海田小学校が、地域にとってどのような存在であるか、どのような存在でありたいか「対話」を通して明らかにしていきます。そのためのカリキュラム・マネジメントを特別な教科道徳・特別活動・算数科・国語科等で工夫していきます。

「心と心が響き合う学校」で、主体的・対話的で深い学びを実現させ、振り返りを活用して価値ある物事に気付く児童、対話と協働を通して考え、自分や人を大切にすることができる児童、体験活動を通して心と体が健康で主体的に行動する児童の育成に全力で取り組みます。

教職員が一丸となり、コミュニティ・スクール実践校として、地域や保護者の皆様と手を取りながら、今後もより一層開かれた学校づくり、明るくパワーのある学校づくりを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



令和7年4月
海田町立海田小学校
校長 西村 靖子